

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公開番号】特開2020-48738(P2020-48738A)

【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2020-013

【出願番号】特願2018-179717(P2018-179717)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月21日(2020.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

進入可能状態と進入困難状態とに変化可能な可変手段と、

前記可変手段が進入可能状態となる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、

通常状態よりも前記特殊状態に制御される頻度が高い特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、、を備え、

前記特別状態は、第1特別状態と、該第1特別状態よりも有利な第2特別状態と、を含み、

前記第1特別状態は、所定条件が成立したことにもとづいて前記第2特別状態に移行する有利第1特別状態と、前記所定条件が成立したことにもとづいて前記第2特別状態に移行しない不利第1特別状態と、を含み、

前記有利状態制御手段は、複数種類の前記有利状態に制御可能であり、

前記特別状態制御手段は、複数種類の前記有利状態のうちの特定の前記有利状態に制御されることを契機として前記第2特別状態に制御可能であり、

前記有利第1特別状態に制御されているときと前記不利第1特別状態に制御されているときとで、共通の特別演出を実行可能な特別演出実行手段をさらに備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、進入可能状態と進入困難状態とに変化可能な可変手段と、可変手段が進入可能状態となる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、通常状態よりも特殊状態に制御される頻度が高い特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、、を備え、特別状態は、第1特別状態と、該第1特別状態よりも有利な第2特別状態と、を含み、第1特別状態は、所定条件が成立したことにもとづいて第2特別状態に移行する有

利第1特別状態と、所定条件が成立したことにもとづいて第2特別状態に移行しない不利第1特別状態と、を含み、有利状態制御手段は、複数種類の有利状態に制御可能であり、特別状態制御手段は、複数種類の有利状態のうちの特定の有利状態に制御されることを契機として第2特別状態に制御可能であり、有利第1特別状態に制御されているときと不利第1特別状態に制御されているときとで、共通の特別演出を実行可能な特別演出実行手段をさらに備えたことを特徴とする。

(1) さらに、他の態様に係る遊技機は、進入可能状態と進入困難状態とに変化可能な可変装置（例えば、特殊可変入賞球装置17）と、可変装置が進入可能状態となる特殊状態（例えば、小当たり遊技状態）に制御可能な特殊状態制御手段と、通常状態よりも特殊状態に制御される頻度が高い特別状態（例えば、KT状態）に制御可能な特別状態制御手段とを備え、特別状態は、第1特別状態（例えば、第1KT状態）と該第1特別状態よりも有利な第2特別状態（例えば、第2KT状態）とを含み、第1特別状態は、所定条件が成立したことにもとづいて第2特別状態に移行する有利第1特別状態（例えば、第1KT状態A）と、所定条件が成立したことにもとづいて第2特別状態に移行しない不利第1特別状態（例えば、第1KT状態B）とを含み、有利第1特別状態に制御されているときと不利第1特別状態に制御されているときとで、共通の特別演出（例えば、共通の背景画像Bを表示する背景演出）を実行可能な特別演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120がステップS001IWS060を実行する部分）をさらに備えたことを特徴とする。

このような構成によれば、特別演出が実行されたときに、有利第1特別状態と不利第1特別状態とのいずれに制御されているか遊技者が推測困難となるため、遊技興奮を向上させることができる。